

# 赤十字だより ぎふ

R e d C r o s s G i f u

発行日

平成27年10月1日

vol.32

編集・発行



日本赤十字社 岐阜県支部  
Japanese Red Cross Society

〒500-8601 岐阜市茜部中島 2-9

TEL 058-272-3561

<http://www.gifu.jrc.or.jp/>



赤十字の活動は、皆様からの社資で支えられています

## 災害時対応機能を強化した、支部新社屋が完成!



日本赤十字社岐阜県支部社屋

### CONTENTS

新たな赤十字の拠点完成……………2

災害救援車両を配備……………2

女性のための市民公開講座を開催……………2

子ども新聞プロジェクト……………3

国際交流～モンゴルへ代表団を派遣～……………3

防災学習をととして赤十字精神を学ぶ……………3

赤十字フェアぎふ 開催のご案内……………3

寄付金型自動販売機 設置のお願い……………4

赤十字講習会のご案内……………4

義援金・救援金 報告……………4



## 新たな赤十字の拠点が完成！

昭和45年の竣工以来、45年を経過し老朽化した岐阜県支部社屋の建替え工事が7月に完了しました。

8月18日には竣工式を開催し、岐阜県赤十字有功会員や赤十字奉仕団員など日頃から赤十字事業を支えていただいている方々にご出席いただきました。

新社屋は、予想される南海トラフの巨大地震や水害が発生した際に、日本赤十字社の役割を十分果たすことのできるよう、災害時対応機能を強化したほか、平時においても、健康増進に役立つ各種赤十字講習会や赤十字活動の情報発信機能などを充実させた建物となっています。



新社屋竣工披露式で式辞を述べる古田支部長



水害対策を施した大規模な救護物資倉庫



天井が高く開放的な会議室(100名収容可能)



## 災害救援車両を配備！

8月5日、日本赤十字社岐阜県支部において、災害救援車両の引き渡し式を開催しました。

災害救援車は、災害時に救援物資の輸送など災害救護業務に使用するほか、平時においても福祉等の赤十字活動のために使用されており、県内全市町村で計91台が運用されています。本年度は関市、多治見市、本巣市、池田町、八百津町の5地区区分に更新のため1台ずつ配備しました。

引き渡し式では、日赤県支部 野中事務局長から「大規模地震のほか集中豪雨による洪水や崖崩れの恐れもある。緊急時の資材運搬等に役立ててもらいたい。」との言葉とともにマスコットキーが渡され、代表して受領いただいた関市社会福祉協議会 山田事務局長は「市民に一層の安心を与えられるよう有効に活用したい。」と述べられました。



右から日赤県支部 野中基彦事務局長  
関市社会福祉協議会 山田純男事務局長



## 赤十字病院 NEWS

### 【岐阜赤十字病院】女性のための市民公開講座を開催！

7月26日、岐阜駅前じゅうろくプラザで開催した市民公開講座には、140名の方に参加いただきました。

今回の講座は、『尿のトラブル骨盤臓器脱』をテーマに、岐阜赤十字病院でウロギネ外来を担当している医師、看護師のほか、骨盤底リハビリ専門の理学療法士を外部から招き開催しました。会場には尿とりパッドや骨盤臓器脱用の下着などの展示もあり、大勢の方が熱心に説明を聞かれました。

講演の合間には岐阜日赤フラガールによるフラダンスも披露され、参加者からは「役に立った。」だけでなく「楽しかった。」などのご感想も多くいただき、盛況のうちに終えることが出来ました。



骨盤底筋体操と一緒に体験する参加者



## 子ども新聞プロジェクト

取材、記事作成など新聞作りを通して『気づき・考え・実行する』能力を育むことを目的に7月18日～20日の3日間、岐阜県小学生メンバー2名が愛知県・三重県メンバーと共に“御嶽山噴火災害”“長野県神城断層地震”取材しました。

御嶽山噴火災害では、最前線でトリアージを実施した山岳医、保健師による“ここのケア活動”や救助拠点となった王滝村役場の様子を、神城断層地震取材では、白馬村、小谷村の死者0人とした共助の取り組み取材しました。

積極的に取材し、子ども記者が毎晩遅くまで記事作成に取り組んだ“子ども新聞”は朝日新聞から9月11日に各加盟校に配布されました。



噴火時のマスコミ対応取材する子ども記者

## 国際交流～モンゴルへ代表団を派遣～



笑顔あふれる交流となりました

JRCの実践目標の一つである『国際理解・親善』の活動として、7月24日～29日の6日間、岐阜県中学生メンバー2名が愛知県メンバーと共にモンゴル国を訪問しました。

現地では、モンゴルユースメンバーと歌や踊り、書道、乗馬などの文化やJRC活動を交流しました。また、大平原で伝統的家屋“ゲル”に宿泊するなど異国の生活を体験しました。

どの訪問先でも温かく迎えられ、心通う交流となりましたが、モンゴルでは英語の授業が盛んで日本の子ども達より英語が話せたため、参加者は英語の大切さを実感しました。

帰国した面々は「早くこの経験を伝えたい。」と充実した顔で話し、この交流から国際平和の輪が広がることを予感させました。

## 防災学習をとおして赤十字精神を学ぶ

夏休みに県内各所で『リーダーシップ・トレーニング・センター(トレセン)』を開催し、小中学生・高校生のメンバーがリーダーシップや防災などを学びました。また、教員を対象に『指導者養成講習会(講習会)』を開催しました。

トレセン(講習会)では救急法講習やグループワークの中で防災やリーダーシップを学んだほか、岐阜地方気象台から講師を招き、自然災害の仕組みや警報について講演いただきました。



吹き出し体験(小中学生トレセン)



一次救命処置(高校トレセン)



三角巾を使った傷の手当て(地区トレセン)



## 『赤十字フェアぎふ』開催のご案内！～赤十字をもっとみじかに～

もっと赤十字を知ってもらいたい！そんな願いを込めて、今年も開催します。

赤十字事業紹介のほか、救護服・看護服を着ての『ちびっ子記念撮影会』などの催しも行いますので、ご家族やお友達を誘って遊びに来てください！

- ・飛騨会場：とき／10月 4日(日) 会場／高山市役所(市民健康まつり)
- ・中濃会場：とき／10月18日(日) 会場／関市文化会館(市民健康福祉フェスティバル)
- ・西濃会場：とき／11月 7日(土) 会場／イオンタウン大垣 セントラルコート

※作品コンクールの表彰式は、西濃会場にて12時30分から開催します。



ちびっ子記念撮影会



## 寄付金型自動販売機 設置のお願い

赤十字事業をPRするとともに、その売り上げの一部を赤十字の活動資金としてご協力いただく寄付金型自動販売機の設置先を募集しています。

- 設置者様や利用される方が、気軽にできる社会貢献活動です。
- 設置者様のご負担は、設置場所と電気代だけです。
- 自動販売機の設置・管理・売上金の回収・赤十字への振り込みは自販機業者が対応します。

(問合せ先: 岐阜県支部組織振興課058-272-3561)



## 赤十字講習会のご案内

命と健康を守る赤十字講習会に是非ご参加ください。

【平成27年度10月～12月版】

講習会名	日時	会場
救急法基礎講習	10月18日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
	12月6日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
救急法救急員養成講習 ※対象:救急法基礎講習修了者	12月13日(日)・20日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
資格継続研修【救急法】	11月15日(日)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
すくすく子育てサポート講習(短期講習)	10月19日(月)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 中会議室
	11月7日(土)※託児無し	岐阜赤十字病院 南館2階 講堂
災害時高齢者生活支援講習(短期講習)	12月7日(月)	岐阜赤十字病院 南館2階 講堂
ころとこころの架け橋講習(短期講習)	12月8日(火)	岐阜赤十字病院 南館2階 講堂
癒しのハンドケア 《優しく触れて疲れを癒す》	10月7日(水)	高山赤十字介護老人保健施設 はなさと 4階会議室
	11月5日(木)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 中会議室
リラクゼーション(短期講習) 《肩や背中に優しく触れるスキンシップ》	10月8日(木)	高山赤十字介護老人保健施設 はなさと 4階会議室
	11月6日(金)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 中会議室
高齢者の自立をめざして	10月5日(月)	岐阜赤十字病院 南館2階 講堂
認知症高齢者への対応	10月6日(火)	岐阜赤十字病院 南館2階 講堂
防災ボランティア養成研修会	11月3日(火)	日本赤十字社岐阜県支部 2階 大会議室
防災ボランティアのためのこころのケア研修	10月29日(木)	高山赤十字病院 3階 講堂

※講習の一部を掲載しています。詳細及び申込方法は岐阜県支部ホームページでご覧いただけます。

## 義援金・救援金 報告

平成27年8月31日現在で岐阜県支部に寄せられた義援金・救援金は次のとおりです。

義援金名	金額	受付期間
東日本大震災義援金	2,081,561,293円	平成28年 3月31日まで
長野県神城断層地震災害義援金	568,209円	平成27年 9月30日まで
平成27年屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金	36,374円	平成27年12月25日まで
平成27年台風第18号大雨災害義援金	平成27年9月11日から	平成27年11月30日まで
中東人道危機救援金	0円	平成28年 3月31日まで
2015年ネパール地震救援金	2,474,870円	平成27年 7月31日まで

皆さまの  
温かいご協力に  
心から感謝いた  
します。

